

2026年6月刊

舞台は宮崎!

き
っ
と。

ある障害者福祉の現場から

いつか、

井口幸久

Inokuchi Yukihisa

いつか、必ず、子どもたちが 自立して生きられるように――

難病をもって生まれたわが子とともに自宅で始めた宮崎の小さな福祉作業所。
「障害者だから」と言わせないために、上からでも下からでもない目線で
課題に向き合い、いつしか全国から見学者が訪れるようになった
ある社会福祉法人の40年の記録。

「専門家でも権威でもない人々が、
自然体で作上げた社会福祉。
その姿を掬い取ってみたい」

「評判のいい、障害者の店があるので行かないか」。

記者クラブの仲間に誘われて二、三人連れだつて訪ねた。県庁から歩いて数分。宮崎市橋通東二丁目のビル一階。「アンジュール」というレストランだった。(略) やがてあることに気づいた。子ども連れの母親たちがお喋りを楽しむ光景はどこにでもあるが、赤ちゃんや幼児たちが誰一人として泣かない。駄々をこねる姿もない。食器が触れ合う音まで心地よかった。(略) レストラン「アンジュール」の時間はゆっくりと流れていた。ゆっくり流れるのはどういう時間か。幼児が泣かないのはなぜか、気になった。(本書より)



四六判並製・176ページ

ISBN978-4-907902-42-1

定価:1,200円+税

井口幸久(いのち・ゆきひさ)・・・ 1956年、福岡生まれ。1980年東京商船大学(現・東京海洋大学)卒。同年、西日本新聞社入社。鹿児島総局、北九州支社、社会部、宮崎総局、文化部長、佐賀総局長等を歴任。2016年、退職の後は九州文化協会、福岡文化連盟事務局長を務めた。著書に『介護タクシーを知っていますか』(角川書店)、『小伝・弥勒先生』(西日本新聞社)、『石心 囲碁棋士・大竹英雄小伝』(石風社)、『絵描きと画材屋 洋画家・野見山暁治と山本文房堂・的野恭一の五十年』、『陸に上がって記者になる』(以上、忘羊社)がある。

| | | | | | |
|--|-----|----|-----|--------------------------|-----------------------|
| 番線 | 注文数 | 日付 | お名前 | 新刊(福祉・ノンフィクション) | ISBN978-4-907902-42-1 |
| | 冊 | / | 様 | いつか、きつと。 ある障害者福祉の現場から | 本体 1,200円 + 税 |
|  ぼうようしゃ 忘羊社 | | | | | |
| 〒810-0033 福岡市中央区薬院4-8-28 ▶TEL 092 (406) 2036 ▶FAX 092 (406) 2093 | | | | | |